

令和3年度

# 学校推薦型選抜学生募集要項

## 学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)

人 文 社 会 科 学 部  
地 域 教 育 文 化 学 部  
理 学 部  
工 学 部 昼 間 コ ー ス  
農 学 部

## 学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)

人 文 社 会 科 学 部  
医 学 部 看 護 学 科

医学部医学科では、臨時定員増の申請を検討中です。このため、医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱについては、本要項とは別に募集要項を公表します。  
医学部医学科の志願者は、別に公表する募集要項に基づき出願してください。  
(表紙裏もご覧ください。)



山形大学  
Yamagata University

## 新型コロナウイルス感染症への対応に関するお知らせ

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項の記載内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ (<https://www.yamagata-u.ac.jp>) の「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしますので、随時確認してください。

2. 入学者選抜における出願書類について

### 【調査書について】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による高等学校等の臨時休業により、出席日数・特別活動の記録・指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

### 【推薦書について】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高等学校等における部活動等の諸活動や大会、資格・検定試験等に参加できず、実績や結果を記載できないことをもって志願者が不利益を被ることはありません。

推薦書等にこれらの活動について記載する場合、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセス等についても記載してください。

## 医学部医学科の入学定員及び募集人員について

医学部医学科では、文部科学省及び厚生労働省へ臨時定員増の申請を検討中です。

現在の同学科の入学定員及び各選抜の募集人員は、本要項 12 ページに記載のとおりですが、増員予定数及び申請結果等については、順次、本学ホームページ及び別冊「山形大学医学部医学科令和3年度学校推薦型選抜学生募集要項」において公表します。

同学科の学校推薦型選抜Ⅱを志願する場合は必ずこれらに基づき、出願してください。

## マイナンバーカードを活用した取り組みについて

本学では、学生サービスの向上を図るため、デジタルキャンパス化を推進しております。その一環として、文部科学省の助成を受け、令和3年度からマイナンバーカードを活用した各種サービスの提供に向けた環境整備を進めているところです。

詳細は、合格通知の際にお知らせしますので、マイナンバーカードの取得について、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎ 学校推薦型選拔出願受付期間

課さない学校推薦型選抜 （大学入学共通テストを 課さない学校推薦型選抜 I）	人文社会科学部	令和 2 年 11 月 2 日（月）～令和 2 年 11 月 6 日（金）必着 （祝日を除きます。）
	地域教育文化学部	
	理学部	
	工学部昼間コース	
課す学校推薦型選抜 （大学入学共通テストを 課す学校推薦型選抜 II）	農学部	令和 3 年 1 月 18 日（月）～令和 3 年 1 月 21 日（木）必着
	人文社会科学部	
	医学部看護学科	

◎ 一般選抜学生募集要項

一般選抜（前期日程・後期日程）はインターネット出願のみの受付です。11月上旬頃公表予定の一般選抜学生募集要項は、冊子では配付しないので、公表日以降に本学ホームページからダウンロードしてください。

出願期間	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出願書類提出期限 （持参又は郵送（書留速達））
令和 3 年 1 月 25 日（月） ～ 2 月 5 日（金）	令和 3 年 1 月 25 日（月） 9 時 ～ 2 月 5 日（金） 16 時 30 分	2 月 5 日（金） 16 時 30 分【必着】 ※持参の場合： 出願期間中（土・日曜日を除きます。） の 9 時から 16 時 30 分まで受け付けま す。 郵送の場合： 2 月 4 日（木）までの消印のある「書留 速達」のみ、2 月 6 日（土）以降でも受 け付けます。

**自然災害等により被災された  
山形大学学部入学志願者の検定料の免除について**

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災及び平成31年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和3年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

**1 免除対象となる入学者選抜試験**

本学が実施する令和3年度学部入学者選抜試験（一般選抜，総合型選抜，学校推薦型選抜，社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

**2 対象者**

令和3年4月に本学の学部に入学者を志願する方で、出願期間前に自然災害等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 志願者の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が自然災害等に際して災害救助法の適用された区域に居住し、家屋等が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が自然災害等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が自然災害等により失職した者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に、帰還困難区域（申請時点で指定されている区域）に居住していた者

**3 本件に関する申請方法等**

申請期限は出願期間前になりますのでご注意ください。

詳細は、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

<https://www.yamagata-u.ac.jp>

お問合せ先：山形大学教育部入試課

TEL (023) 628-4141

# 目 次

I	山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	入学定員・募集人員	12
III	学校推薦型選抜共通事項	
1	学校推薦型選抜に係る留意事項について	13
2	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について	14
3	入学試験情報開示について	14
4	学校推薦型選抜に関するお問合せについて	15
5	出願書類の提出先及び入学選抜に関するお問合せ先について	15
IV	学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）	
1	出願受付期間等	16
2	出願書類及び出願手続	16
3	学部別募集要項細目	
	人文社会科学部	18
	地域教育文化学部	21
	理学部	23
	工学部昼間コース	25
	農学部	28
4	受験者心得	29
5	合格者の発表	30
6	入学手続	30
7	授業料	30
V	学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）	
1	出願受付期間等	31
2	出願書類及び出願手続	31
3	学部別募集要項細目	
	人文社会科学部	34
	医学部看護学科	38
4	受験者心得	40
5	合格者の発表	41
6	入学手続	41
7	授業料	41
☆	大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】	42
VI	山形大学試験場案内図	43
VII	出願書類	
●	入学願書・写真票・受験票【学校推薦型選抜Ⅰ用】	
●	入学願書・写真票・受験票【学校推薦型選抜Ⅱ用】	
●	推薦書	
	推薦書記入上の注意	
●	志望理由書（工学部昼間コースの志願者は提出する必要はありません。）	
	志望理由書記入上の注意	
●	読書感想文記述用紙（人文社会科学部人文社会科学科総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース用）	
●	払込書【学校推薦型選抜用】（17,000円）	
●	ラベル票	
●	受験票送付用封筒	
●	出願書類提出用封筒	
★	大学案内及び各学部のパンフレット請求方法	

# I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために、多様な方法で選抜を実施します。

## 人文社会科学部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像は以下のとおりです。

### ◆求める学生像（3つのC）

- Challenge：人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
- Cooperation：多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人
- Contribution：活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

以上のような観点から人文社会科学科各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

### 人文社会科学科

#### （人間文化コース）

人間文化コースは、文化人類学、日本学、歴史学、文化解釈学、認知情報科学の5つのプログラムから成り、それぞれの学問において、古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目、実際に調査を重ねる課題解決型科目、仮説を実証的に検証する実験科目など、人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学などの基礎的スキルを学んだ上で、講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し、その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて、創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- 人間とその文化的活動に強い関心を持ち、人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
- 異なる意見を理解し、自分の考えを論理的に表現することで、他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
- 高等学校卒業水準の基礎的学力を身につけており、大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

### ◆入学者選抜方法

#### 学校推薦型選抜Ⅰ

人間とその文化的活動への強い関心と人文科学への勉学意欲を持っている入学者を選抜するために、書類審査と面接（プレゼンテーションを含みます。）を課し、基礎的能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ

人文科学への勉学に強い意欲を持ち、それに深く関連する科目の基礎的学力を身につけた入学者を選抜するために、大学入学共通テストにおける国語、外国語、地理歴史、公民の教科・科目と書類審査及び面接試験を課し、人文科学に対する関心・問題意識とそれに関連する基礎的学力等を総合的に評価します。

## (グローバル・スタディーズコース)

グローバル・スタディーズコースは、国際地域研究と多文化研究の2つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究をおこなうことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像および入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人 (Challenge)
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人 (Cooperation)
- ・基礎的な英語力を身につけており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身につける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人 (Contribution)

### ◆入学者選抜方法

#### 学校推薦型選抜Ⅰ

グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的と意欲を持ち、在学中に優れた活動実績がある者を選抜するために、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書）及び面接（プレゼンテーションを含みます。）を課し、国際社会・異文化理解・外国語に対する関心、基礎的能力、論理的思考力、表現力を総合的に評価します。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ

外国語を含む基礎的学力を総合的に評価するため、大学入学共通テスト（国語、地理歴史、公民、数学、外国語）を課します。さらに、国際社会・異文化理解に対する関心、海外での勉学に対する強い意欲並びに外国語に対する適性を確認するため、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により選抜します。

## (総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコース)

各コースの概要は、次のとおりです。

### 【総合法律コース】

総合法律コースでは、体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得したうえで、学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて、幅広く応用可能な法的思考能力を身につけることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

### 【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは、地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し、実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる、地方創生の担い手として必要な知識・能力を身につけることができます。

### 【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは、経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身につけることができます。専門科目の体系的な履修に加えて、コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて、経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

### ◆求める学生像

- ・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
- ・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち、異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の学力を有し、大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

### ◆入学者選抜方法

#### 学校推薦型選抜Ⅰ

それぞれのコースで学ぶ意欲、在学中の優れた成績・活動実績を有し、社会への深い関心を持った人を選抜するため、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書、読書感想文）と面接（口頭試問を含みます。）を課します。協調性を持って倫理的に行動できるか、社会の発展に貢献する意欲があるかについても評価します。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ

社会科学への強い勉学意欲や社会への関心に加え、社会科学を学ぶために必要な基礎学力を有した人物を選抜するため、大学入学共通テストにおける国語、外国語、地理歴史・公民、数学の教科・科目を課し基礎学力を確認します。あわせて、書類審査や面接によって、勉学意欲や社会への関心を確認します。

## 地域教育文化学部

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

### ◆求める学生像（3つの C）

- Challenge**： 広い視野に立って、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人
- Cooperation**： 課題に積極的に取り組む行動力、他者を受け入れる包容力、社会性とコミュニケーション能力を備えている人
- Contribution**： 今日的な社会課題とその課題解決に強い関心があり、地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

### ◆入学者選抜の基本方針

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び、広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観をもって地域の課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する意欲をもった学生を受け入れます。

以上のような観点から、地域教育文化学科の各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

#### 地域教育文化学科

##### （児童教育コース）

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力・実技能力を身に付けて、学校・地域・家庭の連携と相互信頼関係の必要性を理解し、今日的な社会の要請に応える高度な専門性を有する小学校教員を目指す意欲をもった学生を受け入れます。また、小学校教員に加えて、幼児や障がいのある子どもへの適切な指導を行うことのできる教員や、中学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語）のいずれかの専門的知識を有する教員になることを希望する学生を受け入れます。

地域教育文化学科・児童教育コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

## ◆求める学生像

- ・小学校教員を目指す人
- ・小学校教員免許に加えて、幼稚園、特別支援学校、中学校・高等学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語、高等学校社会は地歴）のいずれかの免許取得を目指す人
- ・各教科にわたる基礎的な知識と探究心を備えている人
- ・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
- ・子どもを受けとめられる包容力や寛容な心、他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

## ◆入学者選抜方法

### 学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力、論理的思考力、判断力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力など）、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。

### （文化創生コース）

本コースは、地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し、市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲をもった学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲をもった学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

## ◆求める学生像

- ・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
- ・心理学、栄養学、食品学、スポーツ科学など心身の健康に貢献する学問分野に興味や関心のある人
- ・音楽、美術、デザインなど芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
- ・保健体育科、音楽科、美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

## ◆入学者選抜方法

### 学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、①基礎的な学力及び思考力・判断力・表現力、②主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする態度、③地域貢献に対する姿勢、④新たな課題に挑戦しようとする意欲、⑤コミュニケーション能力、⑥コースに関わる適正、等を総合的に評価します。

# 理 学 部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、教育プログラム（理学）では、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像は以下のとおりです。

## ◆求める学生像（3つの C）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の3要素（3つの C）を備えていること。

**Challenge**： 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人

**Cooperation**： 高い倫理観と協調性を持ち，身につけた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人

**Contribution**： 人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲をもつ人

## ◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて，学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅲにより選抜を実施します。

### 理学科

独創性と柔軟性をもち様々な分野で貢献できる人材として育成するために，1年次には理学全般（数学，物理学，化学，生物学，地球科学，データサイエンス）の基礎科目を全て学び，理学諸分野の専門的知識の基礎を築きます。その上で，2年次以降に自らの将来の進路に適した学修方法を6つのコースカリキュラム・3つの履修プログラムから選択します。

こうしたカリキュラムの中で，社会生活における広い視野・コミュニケーション能力・健全な批判精神を醸成し，理学分野の基礎的教育を行います。また専門分野の修得のみならず，専門分野以外の学問領域を含む学際的知識・研究スキル，さらには国際交流や地域社会との連携に関する教育を行い，様々な分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

## ◆入学者選抜方法

### 学校推薦型選抜Ⅰ

優れた学習成績と人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストを課さず，基礎学力，思考力，表現力を評価する他，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神についての面接（口頭試問を含みます。）を行い，面接（口頭試問を含みます。）の得点と書類審査（調査書・推薦書・志望理由書）に基づく得点の合計により可否を判定します。

## 医 学 部

医学部には，医学科と看護学科の2学科があります。

医学科は，新設医学部・医科大学の一期校として昭和48年に地域医療の中核として設立され，以来，「広い視野を持ち，自ら学び，考え，創造し，それらを生涯にわたって発展させることのできる医師及び医学研究者を養成する」という建学の精神に基づき，すでに4,401人の卒業生を世に送り出しています。

看護学科は，平成5年に東北・北海道地区ではじめての国立4年制大学として設立されました。時代の要請に柔軟に対応できる知識・技術と豊かな人間性を備えた看護職者を養成し，すでに1,576人の卒業生を医療人及び専門的研究者として世に送り出しています。

医学部の学生は卒業後，地域医療の第一線をはじめとして，日本各地の様々な医療機関で，また国際的にも世界各地の研究機関で広く活躍しています。今後さらに地域に根ざし世界で活躍する医療人を育成するため，医学部は以下の「求める学生像」に記された資質を持っている人を受け入れます。

## ◆求める学生像（3つの C）

- Challenge**： 科学的研究心が強く、現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え、粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人
- Cooperation**： 医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え、医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人
- Contribution**： 世界水準の医学看護学を背景に、高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲をもつ人

## ◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科および看護学科では一般選抜入学試験と学校推薦型選抜入学試験を実施します。入学試験では、以下に示す医学科および看護学科のそれぞれのアドミッション・ポリシーに従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

### 医学科

「人間性豊かな、考える医師の養成」を建学の精神として、綿密なカリキュラムに基づく厳格な医学教育が行われています。ヒトゲノム解析など、めざましい先端的な医学研究の進歩を柔軟に医学教育に反映させたカリキュラムの編成により、最新の医学知識を学ぶことができます。達成可能な現実的な目標を設定し、問題解決型の医師の養成をめざした臨床医学教育を実施するためのカリキュラムがきめ細かく編成されています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で臨床医として医療活動に従事していますが、医学研究者として大学・研究所等で活躍している人も数多くいます。

医学教育に加えて、附属病院や地域の病院における診療を通じた地域医療への貢献とともに、様々な国際的な医学研究への参画と民間との共同研究も行われています。

このように医学科では、最先端の医療・医学研究の実践を背景に地域に根ざして世界にはばたく医師・医学者の育成を行っています。このような医学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

## ◆求める学生像

- ・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち、科学的探求心が強く、旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、柔軟性に富み、倫理性の高い人
- ・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
- ・地域医療を含め、幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

## ◆入学者選抜方法

### 学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに、コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を総合的に評価します。

### 看護学科

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる倫理観を基盤とし、誠実で豊かな人間性を備えた看護師・保健師・助産師を育成する看護学教育を行っています。

保健・医療・福祉に関わる人々と協働して、根拠に基づく安全な看護を提供できる人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。

社会と人々の生活の変化を敏感に捉え、看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成することを教育理念としています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で看護師、保健師、あるいは助産師として活躍しています。また、教育研究者として大学で活躍している人や海外で活動する人も増加しています。

このように看護学科では、社会からの多様なニーズに応え、人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護職・看護教育研究者の育成を行っています。このような看護学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・人々の健康と福祉に強い関心を持ち、科学的に迫及する姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、誠実で高い倫理性を持つ人
- ・他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
- ・看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

### ◆入学者選抜方法

#### 学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに、コミュニケーション能力を含む看護職としての適性を総合的に評価します。

## 工 学 部

山形大学工学部は、人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし、現在でも高分子（プラスチック）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは、昼間コースに高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、情報・エレクトロニクス学科、機械システム工学科、建築・デザイン学科、フレックスコースにシステム創成工学科の併せて6学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して、21世紀の社会と産業の変革に呼応し、「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化、産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では、これらの目標達成のため、上記5学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと、今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として、夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で、米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等、大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

### ◆求める学生像（3つのC）

- Challenge**：自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲にあふれ、身のまわりのいろいろなことに好奇心をもって新しいものを創ること、工夫することに情熱を持って取り組める人
- Cooperation**：他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち、社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断し行動できる人
- Contribution**：広く社会に目を向け、工学を通して社会に貢献したい人

### ◆入学者選抜の基本方針

工学部は、このような入学者を幅広く受け入れるため、大学入学共通テストを1次試験とする一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて、総合型選抜Ⅰ（フレックスコース）、総合型選抜Ⅱ（昼間コース）、総合型選抜Ⅲ（共通テストを課す）及び学校推薦型選抜Ⅰにより選抜を実施します。

## 〔昼間コース〕

### 高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は、金属、セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており、電子・情報産業から、エネルギー、環境、自動車、航空、宇宙産業、さらには医療・福祉産業に至るまで、我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では、健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて、高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し、技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し、それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者、技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・高分子・有機材料、自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲と吸収力にあふれ、何事に対しても好奇心と情熱をもってチャレンジできる人
- ・コミュニケーション能力を有し、他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち、社会の中で協調性を保ちながら、自ら考え決断・行動し、成長し続けられる人
- ・広く社会に目を向け、高分子・有機材料工学の技術を通して、強く社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（物理（物理基礎、物理）又は化学（化学基礎、化学）から1科目を選択）、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

### 化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は、環境、エネルギー、食糧、医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために、その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い、様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・勉学や科学技術に対する意欲にあふれ、何事にも積極的に取り組める人
- ・社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
- ・応用化学、化学工学、バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、生物等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から1科目を選択、及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

## 情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は，“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワークなどのソフトウェア分野と、エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として、希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに、実践的な実習・演習を通じて、社会のニーズに応えられる専門知識を習得し、新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・情報科学や電気・電子通信工学を通して、次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し、学習意欲と協調性がある人
- ・テクノロジーの基礎となる数学、物理、英語を積極的に学習できる人
- ・新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B）、及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

## 機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の知識を基礎として、技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、独創性と創造性に富んだ技術開発を通して、地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車、航空機、船舶、精密機器、ロボット、エネルギー変換などの従来からの機械工学の基幹分野はもとより、生体工学、医用工学、知能工学などを含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・新しいことに挑戦し、地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
- ・技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、何をなすべきかを真剣に考える人
- ・ものづくりが好きで機械に興味があり、機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために、高等学校等の教育課程においては数学、物理、化学、外国語（英語）等の基礎学力を十分に身につけていることを求めます。また、幅広い視野を涵養するため、国語、地理歴史・公民等の教科・科目の習得も同時に重要です。

#### 学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

## 建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は、建築・デザインに関する分野における活動を通して、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザインなど、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。

建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
- ・積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人
- ・世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、地学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力、論理的思考力、観察力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

## 農学部

農学部は、日本有数の穀倉地帯であるとともに、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンスなどを学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センターがあり、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、活発な教育・研究を進めています。また、大学院修士課程や博士課程に進学して、学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

### ◆求める学生像（3つの C）

- Challenge**： 知的好奇心が旺盛で、自ら課題を発見し、その解決に向かって行動できる人
- Cooperation**： 自然と人間を愛し、人との出会いを通じて学びあいたい人
- Contribution**： 人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などに関心を持ち、地域社会及び世界に貢献したい人

### ◆入学者選抜の基本方針

農学部は、1学科3コース制を導入しています。このため、入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜があります。

以上のような観点から、食料生命環境学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

## 食料生命環境学科

食料生命環境学科は、1年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して、2年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い、3コースのいずれかに配属となります。2年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。各コースの概要は、次のとおりです。

#### 【アグリサイエンスコース】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び、さらに、限られた資源（物的資源、人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

#### 【バイオサイエンスコース】

生命科学、食品科学などに関わる現場で活躍できる人材を育成します。

植物や、微生物、高等動物など多様な生物を対象とし、これらがもつ生理機能の解明、有用機能の探索・改良など、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

#### 【エコサイエンスコース】

森・水・土を知り、地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを享受しながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学びます。

#### ◆求める学生像

- ・自然に学び、自然について深く考えることのできる人
- ・人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち、行動できる人
- ・論理的に思考し、表現できる人
- ・基礎的な学力を幅広く身につけている人
- ・数学、理科等の自然科学に関しては、基礎的な知識を修得するだけでなく、それを応用できる人

#### ◆入学者選抜方法

##### 学校推薦型選抜 I

小論文試験では、問題文を理解した上で論理的に思考し、自分の考えを適切に記述できるかを基準に評価します。面接試験では、質問の意図をくみ取り、自分の考えを適切に表現できるかを基準に評価します。また、出願時に提出された志望理由書や調査書をもとに、修学意欲や農学に対する関心等についても評価します。

## Ⅱ 入学定員・募集人員

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員については、表紙裏に記載している「医学部医学科の入学定員及び募集人員について」をご覧ください。

学部	学科・コース		入学定員	募 集 人 員									
				一般選抜		総合型選抜			学校推薦型選抜		社会人入試	私費外国人留学生入試	
				前期日程	後期日程	I	II	III	I	II			
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	290	53	7	-	-	-	10	5	-	5	
		グローバル・スタディーズコース		25	-	4	-	-	8	8	-	-	
		総合法律コース 地域公共政策コース (*1) 経済・マネジメントコース		110	15	-	-	-	30	10	若干人	若干人	
		計		188	22	4	-	-	48	23	若干人	5	
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	80	48	12	-	-	-	20	-	若干人	若干人	
		文化創生コース	95	45	10	(*)30	-	-	10	-	若干人	若干人	
		計	175	93	22	30	-	-	30	-	若干人	若干人	
理学部	理学科		210	130	30	-	-	(*)20	(*)25	-	-	5	
		計	210	130	30	-	-	20	25	-	-	5	
医学部	医学科	看護学科	※105	65	15	-	-	-	-	25	-	若干人	
		看護学科	60	35	5	-	-	-	-	20	-	若干人	
		計	165	100	20	-	-	-	-	45	-	若干人	
工学部	昼間コース	高分子・有機材料工学科	140	83	10	-	-	6(2)	6	30	-	-	
		化学・バイオ工学科	応用化学・化学工学コース	140	82	(*4)41	10	-	3(1)	5	9	-	-
			バイオ化学工学コース										
		情報・エレクトロニクス学科	情報・知能コース	150	88	(*5)44	10	-	3(1)	6	10	-	-
			電気・電子通信コース										
		機械システム工学科	140	87	10	-	-	6(2)	10	24	-	-	
		建築・デザイン学科	30	17	5	-	-	2(1)	2	4	-	-	
	昼間コース 計	600	357	65	-	-	26(9)	40	96	-	-	16	
	フレックスコース	システム創成工学科	50	35	5	1期	2期	-	-	-	-	若干人	-
		フレックスコース 計	50	35	5	5	5	-	-	-	-	若干人	-
計		650	392	70	5	5	(*)6	26(9)	40	96	-	16	
農学部	食料生命環境学科		165	95	25	-	-	5	-	40	-	若干人	
		計	165	95	25	-	-	5	-	40	-	若干人	
合 計			1655	998	189	44	31	60	239	68	若干人	26	

(\*1) 総合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として入学試験を行います。そのため、総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。

(\*2) 地域教育文化学部地域教育文化学科は、次の「実技検査区分/募集人員」で選抜を行います。

○総合型選抜Ⅰ/30人…「美術分野/3人程度、音楽分野/13人程度、スポーツ分野/14人程度」

(\*3) 理学部理学科は、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。

○総合型選抜Ⅲ/20人…「数学分野受験/4人」、「物理学分野受験/4人」、「化学分野受験/4人」、「生物学分野受験/4人」、「地球科学分野受験/4人」

○学校推薦型選抜Ⅰ/25人…「数学分野受験/5人」、「物理学分野受験/5人」、「化学分野受験/5人」、「生物学分野受験/5人」、「地球科学分野受験/5人」

(\*4) 工学部化学・バイオ工学科は、各コースの受験者からそれぞれ38人を成績順に合格者とし、残りの6人程度を学科の成績順に合格者とします。

(\*5) 工学部情報・エレクトロニクス学科は、各コースの受験者からそれぞれ40人を成績順に合格者とし、残りの8人程度を学科の成績順に合格者とします。

(\*6) 工学部昼間コース「総合型選抜Ⅱ」募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象に合否判定を行う( )内の人数を含みます。

(\*7) 工学部昼間コースの「私費外国人留学生入試」は、「志望学科・コース」で選抜を行います。

(注)1 入学定員の中には、若干人と記載のある入試の募集人員を含みます。

2 総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生入試(人文社会科学部人間文化コース、理学部理学科及び工学部昼間コースのみ)において、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。

3 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行います。昼間の授業の履修も可能な課程です。

次の学部では、一般選抜前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置します。

工学部昼間コース(建築・デザイン学科を除く。)及びフレックスコース:名古屋市(JR名古屋駅付近)

農学部:山形市(山形大学小白川キャンパス内)

また、人文社会科学部人間文化コースでは、私費外国人留学生入試において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置する予定です。

東京都内及びモンゴル国ウランバートル市内

### Ⅲ 学校推薦型選抜共通事項

#### 1 学校推薦型選抜に係る留意事項について

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課すもの及び課さないものを含む)へ出願することができるのは、一つの大学・学部ですので注意してください。
- (2) 人文社会科学部人文社会科学科の綜合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として募集します。そのため、綜合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。また、この3つのコースでは、1年次に各コースへ分かれず、2年次に各コースへ分かります。  
人間文化コース、グローバル・スタディーズコース、綜合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースの学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)に出願し、不合格となった者は、学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)の同一学科・同一コースにのみ出願することができます。
- (3) 理学部の総合型選抜Ⅲに出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)に出願することはできません。
- (4) 工学部昼間コースの総合型選抜Ⅲの第1次選抜に合格した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)に出願することはできません。
- (5) 学校推薦型選抜で不合格となった場合又は不合格となる可能性に備えて、国公立大学の一般選抜に出願することができます。この場合、大学入学共通テストを受験している必要があります(一般選抜の出願期間：令和3年1月25日(月)～令和3年2月5日(金))。
- (6) 学校推薦型選抜志願者は、志願する学科等で課す大学入学共通テスト(学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)に限る)及び学力検査等(面接等)をすべて受験しなければ失格となります。
- (7) 学校推薦型選抜合格者が入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (8) 学校推薦型選抜合格者は、特別の事情がある場合を除き入学を辞退することはできません。  
ただし、特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、当該志願者の推薦を行った出身学校長からの「推薦入学辞退願」(様式は任意。合格学部学科等名、大学受験番号及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で、本人及び推薦学校長が連署・押印したもの。)を本学に提出し、許可を得てください。  
この入学辞退を許可された場合を除いては、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので、十分注意してください。
- (9) 学校推薦型選抜志願者は、特別の事情がある場合を除き、入学試験を欠席又は合格を辞退することはできません。  
ただし、特別の事情があり、入学試験を欠席又は合格を辞退する場合は、上記(8)の「推薦入学辞退願」に準じたものを本学に提出してください。
- (10) 入学手続完了者が高等学校等を卒業又は修了できない場合は、入学を取り消します。
- (11) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、山形大学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。  
また、本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
  - ① 入学者選抜試験実施のため
  - ② 入学手続業務のため
  - ③ 入試統計調査のため
  - ④ 就学上必要な本学での業務のため
  - ⑤ その他大学として必要な業務のため
- (12) その他学校推薦型選抜に関し、追加すべき事項が生じた場合には、出身学校長を通じて連絡します。

## 2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始**2～3週間前**までに、以下の担当に電話連絡の上、所定の申請書に医師の診断書等を添えて提出してください。相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、**できるだけ早めにご相談**ください。

【担当】教育部入試課

TEL (023) 628-4141

なお、事前相談は病気・負傷や障害等のある志願者が安心して受験に臨み、入学後スムーズに修学できるようにするためのものであり、相談内容によって志願者が不利益を被ることはありません。

提出書類等の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について強度視野障害のある者 ・上記以外の視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢 体 不 自 由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	・自閉症，アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

## 3 入学試験情報開示について

### (1) 合格最高点・最低点及び合格者の平均点について

合格最高点・最低点及び合格者の平均点は、山形大学ホームページにより公表します。

なお、合格者が10人以下の学科等については、公表しません。

### (2) 入学試験個人成績及び調査書の開示・請求方法について

- ① 開示請求受付期間 令和3年5月1日～令和3年5月31日（消印有効）  
受付時間は、9時から16時30分までとします（土・日曜日、祝日を除きます。）。
- ② 請 求 者 受験者本人に限ります（代理人による請求は認めません。）。
- ③ 請 求 方 法 受験した学部の担当部署（15ページ参照）の窓口への持参又は郵送により受け付けます。次の(i)～(iii)の書類により申し込んでください。  
なお、郵送による申込の場合は、受験した学部の担当部署宛ての封筒の表に「〇〇学部入試成績開示申込み」と朱書きしてください。  
(i) 令和3年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書  
※申込書は、令和3年4月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードしてください。  
(ii) 本学受験票（写しは不可）  
※持参による申込の場合は申込時に、郵送による申込の場合は返

送時に同封して返却します。

(iii) 返信用封筒(長形3号(23.5cm×12cm)に414円分の切手をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの)

④ 開示方法 請求のあった日の翌日以降2週間以内を目途に、郵送(簡易書留)により開示します。

ただし、請求状況によっては、時間を要する場合がありますので、ご了承ください。

#### 4 学校推薦型選抜に関するお問合せについて

学校推薦型選抜に関する事務は、各学部の担当部署で取扱います。不明な点があれば、電話又は郵送にてお問合せください。なお、郵送による場合は、必要事項(送付先郵便番号・住所・氏名)を記載した返信用封筒(所要切手添付)を同封してください(お問合せ先は、以下の「5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について」を参照してください)。

#### 5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について

学 部	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
人 文 社 会 科 学 部	小白川キャンパス事務部入試課 人 文 社 会 科 学 部 担 当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4207
地 域 教 育 文 化 学 部	小白川キャンパス事務部入試課 地 域 教 育 文 化 学 部 担 当		(023)628-4310
理 学 部	小白川キャンパス事務部入試課 理 学 部 担 当		(023)628-4710
医 学 部	入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023)628-5049
工 学 部	入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農 学 部	入 試 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは、8:30~17:00(土・日曜日、祝日、10月15日及び12月28日~1月3日を除く。)の時間帯でお願いします。

## IV 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)

### 1 出願受付期間等

#### (1) 出願受付期間

令和2年11月2日(月)から11月6日(金)まで(祝日を除きます。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

郵送の場合も11月6日(金)まで必着とします。

#### (2) 出願書類の提出先

志願学部の担当部署(15ページ参照)に提出してください。

(注) 1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。

2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

### 2 出願書類及び出願手続

出願書類は、学校長の責任のもとに、志願者1人ごとに本要項添付の封筒に入れ、郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

なお、複数の志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、志願者ごとの封筒を、「学校推薦型選抜入学願書在中」と朱書きした別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 本要項に添付の所定の用紙【学校推薦型選抜 I 用】を用い、所定欄に必要事項を もれなく記入してください。</li><li>○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和3年3月31日(水)まで確実に 郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を記入 してください。</li><li>○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写 真(4cm×3cm)をはってください。</li></ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。<ul style="list-style-type: none"><li>1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。</li><li>2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。</li></ul></li></ul>
推薦書	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 本要項に添付の所定の用紙により、出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。</li><li>○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。</li></ul>
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 本要項に添付の所定の用紙を用いてください。</li><li>○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。</li><li>※ 工学部昼間コースの志願者は、提出する必要はありません。</li></ul>

出願書類	出願書類作成上の注意
山形大学入学試験検定料納付証明書	<p>○ 検定料 17,000円</p> <p>1 払込期間 令和2年10月23日(金)から令和2年11月6日(金)まで</p> <p>2 払込方法</p> <p>(1) 本要項に添付の所定の「払込書【学校推薦型選抜用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。</p> <p>(2) 各票の※印の欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。</p> <p>(3) 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する学部・学科名等を記入してください。</p> <p>(4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。</p> <p>3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u></p> <p>4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。)</p> <p>(2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>※ 返還についてのお問合せは、各学部の担当部署(15ページ参照)をお願いします。なお、申出期限は令和3年3月31日(水)までとします。</p> <p>5 本学では、東日本大震災及び平成31年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和3年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を行います。詳細は、本要項の表紙裏面の右ページ並びに本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。</p>
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号等を記入し、提出してください。
返信用封筒	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、374円分の切手(速達)をはって提出してください。
読書感想文	○ 人文社会科学部人文社会科学科の総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースの志願者は、本要項に添付の所定の用紙により、提出してください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを使用して、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。

### 3 学部別募集要項細目

## 人 文 社 会 科 学 部

### 1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人 文 社 会 科 学 科	人 間 文 化 コ ー ス	10人
	グ ローバル・スタディーズコース	8人
	総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース	30人

### 2 出願資格・出願要件

コ ー ス 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
人 間 文 化 コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者(注)又は高等専門学校第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) 人間文化コースで扱う学問分野のいずれかに強い関心を持っている者                      (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者                      (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
グ ローバル・ スタディーズ コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者(注)又は高等専門学校第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者                      (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者                      (3) 在学中に優れた活動実績がある者                      (4) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者                      (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者(注)又は高等専門学校第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) 総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者                      (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者                      (3) 在学中に優れた活動実績がある者                      (4) 社会について深い関心がある者                      (5) 個性的で活力がある者                      (6) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>

### 3 選抜方法等

人間文化 コース	選 抜 期 日	令和2年11月18日(水)・19日(木) (本学部が指定するいずれかの日)							
	時 間	9:00~17:00(予定)							
	科 目 等	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)							
	選 抜 方 法	<p>(1) 推薦書, 調査書, 志望理由書の審査に加え, 面接 (プレゼンテーションを含みます。) を実施します。</p> <p>(2) 面接 (プレゼンテーションを含みます。) では, 人間文化コースで扱う学問分野に関連して自分でテーマを選び, そのテーマについて, 考えたり調べたりした具体的な成果を, A4用紙1枚にまとめた説明資料 (試験当日持参, 面接 (プレゼンテーションを含みます。) 時に提出) に基づいて, 5分程度話してもらい, 主としてそれをもとにした質疑応答を行います。質疑応答では, 論理的思考力, 勉強意欲と問題意識, 発表力, 本コースでの修学に必要な基礎的能力等をみます。</p> <p>配点は, 次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>書類審査 (推薦書, 調査書, 志望理由書)</td> <td>面 接 (プレゼンテーションを含みます。)</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>面接 (プレゼンテーションを含みます。) 時間は1人30分程度です。</p>		書類審査 (推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合 計	30	70	100
	書類審査 (推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合 計						
30	70	100							
採点・評価基準	人間文化コースの学問分野に対する関心・問題意識, 勉学への意欲及び本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。								
合否判定基準	推薦書, 調査書, 志望理由書及び面接 (プレゼンテーションを含みます。) の結果を総合して判定します。								
グローバル・ スタディーズ コース	選 抜 期 日	令和2年11月18日(水)・19日(木) (本学部が指定するいずれかの日)							
	時 間	9:00~17:00(予定)							
	科 目 等	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)							
	選 抜 方 法	<p>(1) 推薦書, 調査書, 志望理由書の審査に加え, 面接 (プレゼンテーションを含みます。) を実施します。</p> <p>(2) 面接 (プレゼンテーションを含みます。) ではまず, 国際社会・異文化理解・外国語 (言語そのものの特徴や言語比較等) といったグローバル・スタディーズコースで扱う学問分野の中から自分で選んだテーマについて, 考えたり調べたりした具体的な成果を, A4用紙1枚にまとめた説明資料 (試験当日持参, 面接 (プレゼンテーションを含みます。) 時に提出) に基づいて, 5分程度日本語で話してもらいます。その後, 主としてそれをもとにした質疑応答を行います。</p>							

グローバル・スタディーズコース	選 抜 方 法	<p>(3) 質疑応答は原則として日本語で行い，論理的思考力，勉学意欲，発表力，本コースでの修学に必要な基礎的能力をみます。</p> <p>(4) 配点は，次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)</td> <td style="width: 33%;">面 接 (プレゼンテーションを含みます。)</td> <td style="width: 33%;">合計</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>面接（プレゼンテーションを含みます。）時間は1人30分程度です。</p>			書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合計	30	70	100
	書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合計							
	30	70	100							
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，国際社会・異文化理解・外国語への関心，本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。									
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書及び面接（プレゼンテーションを含みます。）の結果を総合して判定します。									
総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメント コース	選 抜 期 日	令和2年11月18日(水)・19日(木) (本学部が指定するいずれかの日)								
	時 間	9：00～17：00（予定）								
	科 目 等	面 接（口頭試問を含みます。）								
	選 抜 方 法	<p>推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。</p> <p>配点は，次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)</td> <td style="width: 33%;">面 接 (口頭試問を含みます。)</td> <td style="width: 33%;">合計</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </table> <p>面接（口頭試問を含みます。）時間は1人30分程度です。</p>			書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)	面 接 (口頭試問を含みます。)	合計	100		100
	書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)	面 接 (口頭試問を含みます。)	合計							
	100		100							
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，社会的関心等を総合的に評価します。									
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果を総合して判定します。									

- ◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。  
 詳細については，受験票送付時に本人宛てに通知します。

## 地 域 教 育 文 化 学 部

### 1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
地 域 教 育 文 化 学 科	児 童 教 育 コ ー ス	20人 (出願資格・出願要件①10人, ②10人)
	文 化 創 生 コ ー ス	10人

### 2 出願資格・出願要件

コース名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
児 童 教 育 コ ー ス	<p>① 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者                      (2) 児童教育コースでの勉学を強く希望する者                      (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者                      (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
	<p>② 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者                      (2) 児童教育コースでの勉学を強く希望する者                      (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者                      (4) 数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学（理数科にあっては、理数数学Ⅱ、理数物理、理数化学、理数生物及び理数地学）の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者                      (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
文 化 創 生 コ ー ス	<p>高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。</p> <p>(1) 文化創生コースでの勉学を強く希望する者                      (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者                      (3) 地域における心身の健康支援（心理、食、スポーツ）や芸術文化（音楽、美術）の振興に強い関心を持つ者                      (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>

### 3 選抜方法等

#### (1) 選抜日時・科目等

コース名	選抜日時	科目等	配点
児童教育コース	令和2年11月19日(木) 9:00~17:00(予定)	面接 (口頭試問を含みます。)	300
文化創生コース			

◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

#### (2) 選抜方法及び成績の評価

##### 児童教育コース

面接 (口頭試問を含みます。)	方法	複数の面接担当者による個別面接
	時間	15~20分程度
	内容	教員を志望する理由や課題についての回答等
採点・評価基準	面接（出願資格・出願要件①，②それぞれ別の口頭試問を含みます。）では，コースに関わる基礎的能力（基礎的学力，論理的思考力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力など）と学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。	
合否判定基準	面接（出願資格・出願要件①，②それぞれ別の口頭試問を含みます。）の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

##### 文化創生コース

面接 (口頭試問を含みます。)	方法	複数の面接担当者による個別面接
	時間	15~20分程度
	内容	主として，コースで扱う学問分野や領域に関連して，自分でテーマを選び，そのテーマについて考えたり調べたりした具体的な成果をもとに質疑応答を行います。
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，論理的思考力，学習意欲と問題意識，コミュニケーション能力，本コースでの修学に必要な基礎的能力等をみます。	
合否判定基準	面接（口頭試問を含みます。）の得点及び志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

### 4 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

学校推薦型選抜Ⅰ（地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース）の合格者は、「令和3年度入学者選抜要項」の22ページに示す地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名欄に記載の「5教科6科目又は5教科7科目」について解答し，自己採点結果を小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当へ提出してください(大学入学共通テストの問題等は，インターネットや新聞等で入手できます。)

なお，これは入学までの期間の勉学意欲継続のため，また，基礎学力を把握し，入学後の学習支援に活用するために行うものです。

# 理 学 部

## 1 募集人員

学 科 ・ 選 抜 区 分 名		募 集 人 員
理 学 科	数 学 分 野 受 験	5 人
	物 理 学 分 野 受 験	5 人
	化 学 分 野 受 験	5 人
	生 物 学 分 野 受 験	5 人
	地 球 科 学 分 野 受 験	5 人

## 2 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たし、かつ、学校長が責任をもって推薦できる者。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）
- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- (3) 出願する選抜区分において、次のすべての要件を満たす者

選 抜 区 分 名	出 願 要 件
数 学 分 野 受 験	(1) 数学への強い関心と勉学意欲をもつ者 (2) 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者
物 理 学 分 野 受 験	(1) 物理学への強い関心と勉学意欲をもつ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，物理基礎及び物理（理数科にあつては，理数物理）
化 学 分 野 受 験	(1) 化学への強い関心と勉学意欲をもつ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，化学基礎及び化学（理数科にあつては，理数化学）
生 物 学 分 野 受 験	(1) 生物学への強い関心と勉学意欲をもつ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，生物基礎及び生物（理数科にあつては，理数生物）
地 球 科 学 分 野 受 験	(1) 地学・地球科学への強い関心と勉学意欲をもつ者 (2) 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者

（注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

### 3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和2年11月14日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各選抜区分の口頭試問における基礎学力の出題範囲等は次のとおりとします。また、口頭試問では、黒板又はホワイトボード等を用いて説明していただきます。		
	選抜区分	出題範囲等	
	数 学 分野受験	○ 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学Bの範囲の問題 ※数学Bの出題範囲は、「数列」，「ベクトル」とします。	
	物 理 学 分野受験	○ 物理：物理基礎及び物理の範囲の問題	
	化 学 分野受験	○ 化学：化学基礎及び化学の範囲の問題	
	生 物 学 分野受験	○ 生物：生物基礎及び生物の範囲の問題	
	地 球 科 学 分野受験	○ 地球科学に関する問題	
選 抜 方 法	面接（口頭試問を含みます。）及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により選抜します。 配点は次のとおりとします。		
	面接(口頭試問を含みます。)	書類審査 (調査書，推薦書，志望理由書)	合計
	140	60	200
採点・評価 基 準	基礎学力，思考力，表現力を評価する他，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神など，理学部のアドミッション・ポリシーに対する適性を評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）の得点の合計により，合否を判定します。		

◎ 理学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

詳細については，受験票送付時に本人宛てに通知します。

# 工 学 部 昼 間 コ ー ス

## 1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科		30人 (出願資格・出願要件①27人, ②3人)
化学・バイオ 工 学 科	応用化学・化学工学コース	9人 (出願資格・出願要件①7人, ②2人)
	バイオ化学工学コース	9人 (出願資格・出願要件①7人, ②2人)
情報・エレクトロニクス 学 科	情 報 ・ 知 能 コ ー ス	10人 (出願資格・出願要件①8人, ②2人)
	電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	10人 (出願資格・出願要件①7人, ②3人)
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		24人 (出願資格・出願要件①19人, ②5人)
建 築 ・ デ ザ イ ン 学 科		4人 (出願資格・出願要件①4人)

## 2 出願資格・出願要件

①	<p>高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者((注)のア及びイを含みます。)で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者</p>
②	<p>高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得のこと。)を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物・学力ともに優秀な者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>

### 3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和2年11月21日（土）	
時 間	9：00～13：00（予定）	
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各学科の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。	
	学科名	出題範囲
	高分子・有機材料工学科	○ 物理，化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域，物理の全領域 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」，「無機物質の性質と利用」，「有機化合物の性質と利用」
	化学・バイオ工学	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎，コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ）  【バイオ化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学，生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域，生物のうち「生命現象と物質」，「生殖と発生」，「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎，コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ）
情報・エレクトロニクス学科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」，「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎，コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ）	

科目等	学科名	出題範囲	
	情報・エレクトロニクス学科	<p>【電気・電子通信コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、「二次関数」 数学Ⅱのうち「図形の性質」 数学Ⅲのうち「いろいろな式」、「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」 数学Ⅳのうち「数列」、「ベクトル」</li> <li>○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）</li> </ul>	
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、「三角関数」、 「微分・積分の考え」</li> <li>○ 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」</li> <li>○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）</li> </ul>		
建築・デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建築，都市，デザインを題材とした試問を通して，以下の観点から評価します。</li> <li>○ 社会に対する幅広い興味・関心</li> <li>○ 科学的思考力と論理的表現力</li> <li>○ 発想の豊かさと思考の柔軟性</li> </ul>		
選抜方法	<p>調査書，推薦書及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。</p> <p>なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書及び推薦書を参考にします。</p> <p>配点は，次のとおりとします。</p>		
	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合計点
	30	70	100
採点・評価基準	<p>面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力</li> </ul>		
合否判定基準	<p>(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します（総合点方式）。</p> <p>(2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</p>		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人20分程度とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票送付時に本人宛てに通知します。

#### 4 入学前教育について

本学部では，学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定したeラーニング等による入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育の詳細及び費用については，合格通知の際にお知らせします。

# 農 学 部

## 1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
食 料 生 命 環 境 学 科	40人

## 2 出願資格・出願要件

<p>高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者（注）並びに高等専門学校第3学年を修了した者又は令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に食料生命環境学科での勉学を強く希望する者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 次のいずれかに該当するものを含みます。</p> <p>ア 我が国において、当該外国の学校教育制度において12年の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が位置付けた教育施設を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者</p> <p>ウ 国際評価団体の認定を受けた教育施設であって文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者又は修了見込みの者</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和2年11月19日(木)		
時 間	9 : 00～10 : 30	12 : 00～17 : 00 (予定)	
科 目 等	小 論 文	面 接 (口頭試問を含みます。)	
選 抜 方 法	推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。		
	配点は次のとおりとします。		
	小 論 文	面 接 (口頭試問を含みます。)	合 計 点
	100	50	150
採 点 ・ 評 価 基 準	小論文では、「考察力、論理的思考力、理解力、記述力等」を基準に、面接（口頭試問を含みます。）では、「理解力、表現力、意欲、志望理由、就学状況、社会的活動等」を基準に評価します。なお、小論文では英語を含む基礎学力を問う問題を課すことがあります。		
合 否 判 定 基 準	推薦書、調査書及び志望理由書を参考にしながら行った面接（口頭試問を含みます。）と小論文の成績との総合成績により判定します。		

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

## 4 受験者心得

- 1 「山形大学入学試験受験票」について
  - (1) 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
  - (2) 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
  - (3) 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
  - (4) 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部の担当部署（15ページ参照）に申し出てください。
  - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

(注意) 平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。

- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
  - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
  - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
  - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
  - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしていません。
- 16 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

## 5 合格者の発表

### (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
令和2年12月1日(火) 11時	○ 本学のホームページの「入試案内」に全学部の合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による合否の問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

### (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書及び入学手続関係書類等を送付します。また、出身学校長には、選抜結果通知書を送付します。

## 6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

令和2年12月14日(月)から12月17日(木)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

### (2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

学部	入学料
人文社会科学部, 地域教育文化学部, 理学部, 工学部昼間コース, 農学部	282,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### (3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

学部	授業料	納付方法
人文社会科学部, 地域教育文化学部, 理学部, 工学部昼間コース, 農学部	年額 535,800円(予定額)	「年1回払い」, 「年2回払い」, 「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、未確定のため予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## V 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

### 1 出願受付期間等

#### (1) 出願受付期間

人文社会科学部及び医学部看護学科

令和3年1月18日(月)から1月21日(木)まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

郵送の場合も1月21日(木)まで必着とします。

#### (2) 出願書類の提出先

志願学部を担当部署（15 ページ参照）に提出してください。

(注) 1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。

2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

### 2 出願書類及び出願手続

出願書類は、学校長の責任のもとに、志願者1人ごとに本要項添付の封筒に入れ、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、複数の志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、志願者ごとの封筒を、「学校推薦型選抜入学願書在中」と朱書きした別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出願書類	出願書類作成上の注意
入学願書 写真票 受験票 大学入学共通テスト 成績請求票 はり付け台紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本要項に添付の所定の用紙【学校推薦型選抜Ⅱ用】を用い、所定欄に必要事項を漏れなく記入してください。</li> <li>○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和3年3月31日(水)まで確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を記入してください。</li> <li>○ 人文社会科学部及び医学部看護学科の志願者は、「令和3共通テスト成績請求票」欄に、「<b>推薦</b>国公立推薦型選抜用」成績請求票を必ずはってください。 提出の際は、本要項42ページの大学入学共通テスト受験教科・科目確認表により、志願する学部で指定された大学入学共通テストの教科・科目を全て受験する予定である、あるいは受験したことを確認し、成績請求票はり付け台紙のチェック欄に○を付してください。</li> <li>○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。</li> </ul>

出願書類	出願書類作成上の注意
調査書	<p>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。</p> <p>1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。</p> <p>2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。          なお、医学部看護学科の出願資格・出願要件(2)に係る科目について、履修見込みの場合は、備考欄にその旨記載してください。</p>
推薦書	<p>○ 本要項に添付の所定の用紙により、出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。</p> <p>○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。</p>
志望理由書	<p>○ 本要項に添付の所定の用紙を用いてください。</p> <p>○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。</p>
山形大学入学試験 検定料納付証明書	<p>○ <b>検定料 17,000円</b></p> <p>1 払込期間          人文社会科学部及び医学部看護学科          令和3年1月12日(火)から令和3年1月21日(木)まで</p> <p>2 払込方法</p> <p>(1) 本要項に添付の所定の「払込書【学校推薦型選抜用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。          なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。<b>必ず窓口で払い込んでください。</b></p> <p>(2) 各票の※印の欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。</p> <p>(3) 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する学部・学科名等を記入してください。</p> <p>(4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、<b>必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。</b></p> <p>3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u></p> <p>4 出願受付後に、各学部・学科で指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、検定料17,000円のうち13,000円を返還しますので、申し出てください。なお、申出期限は令和3年3月31日(水)までとします。</p> <p>5 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。)</p> <p>(2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>※ 返還についてのお問合せは、各学部の担当部署(15ページ参照)にお願いします。なお、申出期限は令和3年3月31日(水)までとします。</p> <p>6 本学では、東日本大震災及び平成31年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和3年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を行います。詳細は、本要項の表紙裏面の右ページ並びに本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。</p>

出願書類	出願書類作成上の注意
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号等を記入し、提出してください。
返信用封筒	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、 <b>374円分の切手(速達)</b> をはって提出してください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備のある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを使用して、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。

### 3 学部別募集要項細目

## 人 文 社 会 科 学 部

### 1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人文社会科学科	人 間 文 化 コ ー ス	5人
	グ ロー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	8人
	総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	10人

### 2 出願資格・出願要件

コース名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
人間文化コース	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和2年3月卒業又は令和3年3月卒業見込みの者（注）及び高等専門学校の第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 人文科学分野の勉学に強い意欲をもつ者で、人物、学力共に優秀な者</p> <p>(2) 令和3年度大学入学共通テスト（本コースが指定した教科・科目）を受験した（する）者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和元年度又は令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
グローバル・スタディーズコース	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者</p> <p>(2) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者</p> <p>(3) 令和3年度大学入学共通テスト（本コースが指定した教科・科目）を受験した（する）者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメント コース	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和3年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者</p> <p>(2) 令和3年度大学入学共通テスト（本募集単位が指定した教科・科目）を受験した（する）者</p> <p>(3) 社会について深い関心がある者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>

### 3 選抜方法等

#### 人間文化コース

選 抜 期 日	令和3年2月9日（火）	
時 間	9：00～17：00（予定）	
科 目 等	面 接	
選 抜 方 法	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の結果により，総合的に評価します。 配点は，次のとおりとします。	
	大学入学共通テスト	面接
	600	100
	面接時間は1人10分程度です。	
採点・評価基準	面接では，人文科学に対する関心・問題意識とそれに関連する基礎的学力等を評価します。	
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の結果により，総合的に判定します。	

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

#### グローバル・スタディーズコース

科 目 等	書類審査（来学の必要はありません。）	
選 抜 方 法	大学入学共通テストの成績，書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により，総合的に評価します。 配点は，次のとおりとします。	
	大学入学共通テスト	書類審査
	700	200
	合計点 900	
採点・評価基準	書類審査では，本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，国際社会，異文化理解，外国語への関心等を総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テストの成績，書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により，総合的に判定します。	

#### 総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコース

選 抜 期 日	令和3年2月9日（火）	
時 間	9：00～17：00（予定）	
科 目 等	面 接	
選 抜 方 法	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の結果により，総合的に評価します。 配点は，次のとおりとします。	
	大学入学共通テスト	面接
	500	50
	合計点 550	
	面接時間は1人15分程度です。	
採点・評価基準	面接では，勉学意欲や社会への関心を評価します。	
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の結果により，総合的に判定します。	

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

#### 4 大学入学共通テストについて

受験を要する教科・科目及び配点

コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
人間文化 コース	国 地歴 公民 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科4科目又は4教科4科目〕 (注) 1 「地理歴史」及び「公民」について, 世界史 B, 日本史B, 地理Bのうち少なくとも1科目 を含むものとします。 2 「外国語」で「英語」を選択した場合, 配点 はリーディング100点満点を160点満点, リス ニング100点満点を40点満点へ換算し, その合 計得点200点満点とします。 3 配点欄の( )内の数字は, 選択科目の配点 を示します。 4 令和2年度大学入試センター試験以前の成績 は利用しません。	国 200 地歴 (100) 公民 (100) 外 200  計 600
グローバル・ スタディーズ コース	国 地歴 公民 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿, 情報 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕 (注) 1 受験教科は「国語」, 「地理歴史, 公民, 数学 (1つを選択)」, 「外国語」の3教科です。 2 「地理歴史」及び「公民」について, 2科目 受験をした場合, 解答順に, 前半に受験した科 目を「第1解答科目」, 後半に受験した科目を「第 2解答科目」とします。 3 「地理歴史」及び「公民」について, 2科目 受験をした場合は, 第1解答科目の成績を用い ます。 4 「数学」について, 「簿記・会計」, 「情報関係 基礎」を選択できる者は, 高等学校又は中等教 育学校においてこれらの科目を履修した者に限 ります。 5 「地理歴史, 公民, 数学」について, 高得点 の科目の成績を利用します。 6 「外国語」で「英語」を選択した場合, 配点は リーディング100点満点を160点満点, リスニ ング100点満点を40点満点へ換算し, その合計得 点200点満点を400点満点に換算します。 7 配点欄の( )内の数字は, 選択科目の配点 を示します。 8 令和2年度大学入試センター試験以前の成績 は利用しません。	国 200 地歴 (100) 公民 (100) 数 (100) 外 400  計 700

コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメントコース	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿, 情報 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕	国 200 地歴 (100) 公民 (100) 数 (100)
	外	英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕	外 200
(注) 1 受験教科は「国語」, 「地理歴史, 公民, 数学 (1つを選択)」, 「外国語」の3教科です。 2 「地理歴史」及び「公民」について, 2科目 受験をした場合, 解答順に, 前半に受験した科目を「第1解答科目」, 後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。 3 「地理歴史」及び「公民」について, 2科目 受験をした場合は, 第1解答科目の成績を用います。 4 「数学」について, 「簿記・会計」, 「情報関係 基礎」を選択できる者は, 高等学校又は中等教育 学校においてこれらの科目を履修した者に限り ます。 5 「地理歴史, 公民, 数学」について, 高得点 の科目の成績を利用します。 6 「外国語」で「英語」を選択した場合, 配点 はリーディング100点満点を160点満点, リス ニング100点満点を40点満点へ換算し, その合 計得点200点満点とします。 7 配点欄の( )内の数字は, 選択科目の配点 を示します。 8 令和2年度大学入試センター試験以前の成績 は利用しません。			計 500

# 医 学 部 看 護 学 科

## 1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
看 護 学 科	20人

## 2 出願資格・出願要件

学 科 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
看護学科	<p>高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 人物・学力共に優秀で、看護学の勉学を強く希望し、将来、看護の実践・指導に携わることを決意している者</p> <p>(2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者</p> <p>① 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A及び数学Bのうち2科目以上（理数科にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）</p> <p>② 理科については、物理基礎、化学基礎及び生物基礎のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物のうち2科目以上）</p> <p>(3) 令和3年度大学入学共通テスト（本学科が指定した教科・科目）を受験する者</p> <p>(4) 合格した場合は、看護学科に入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和2年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>

## 3 選抜方法等

### 看護学科

選 抜 期 日	令和3年2月6日(土)								
時 間	9：30～13：00（予定）								
科 目 等	面 接								
採点・評価基準	<p>調査書、推薦書並びに志望理由書及び面接の結果により、総合的に評価します。</p> <p>面接では、論理的な思考能力とともにコミュニケーション能力を含む看護職者としての適性を評価します。</p> <p>配点は、次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大学入学共通テスト</td> <td>面 接</td> <td>総 合 点</td> </tr> <tr> <td>800</td> <td>200</td> <td>1000</td> </tr> </table>			大学入学共通テスト	面 接	総 合 点	800	200	1000
大学入学共通テスト	面 接	総 合 点							
800	200	1000							
合否判定基準	<p>大学入学共通テスト、面接（調査書、推薦書、志望理由書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。</p> <p>なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがあります。</p> <p>また、総合点と同点の場合は、面接の得点により順位を付けます。</p>								

◎ 医学部試験場（山形市飯田西二丁目2-2）において実施します。

なお、詳細については、受験票送付時に本人宛てに通知します。

#### 4 大学入学共通テストについて

受験を要する教科・科目及び配点

学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
看護学科	国	国	国 200(200)
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	地歴※100(100)
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	公民※100(100)
	数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1	数 200(200)
	理	以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1	理 100(100)
	外	英(リスニングを含みます。), 独, 仏から1 〔5教科6科目又は5教科7科目〕	外 200(200) 〔リーディング(100)〕 〔リスニング(100)〕 計 800

- (注) 1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について、2科目受験した場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 2 「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 3 看護学科において、「理科」について、「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 4 看護学科において、「理科」について、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計）を用います。
- 5 配点欄の（ ）内の数字は、大学入学共通テストの素点を示します。  
※印を付してある教科は選択科目を表します。
- 6 令和2年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。

## 4 受験者心得

- 1 「大学入学共通テスト受験票」及び「山形大学入学試験受験票」について
  - (1) 試験当日は、「大学入学共通テスト受験票」と「山形大学入学試験受験票」の2つを必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
  - (2) 試験場では、常に2つの受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
  - (3) 試験当日、受験票（いずれか一方の受験票又は両受験票）を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
  - (4) これらの受験票を紛失した場合は、速やかに志願学部の担当部署（15ページ参照）に申し出てください。
  - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

(注意) 平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。
- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
  - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
  - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
  - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
  - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあっせんしていません。
- 16 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

## 5 合格者の発表

### (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
令和3年2月16日(火) 11時	○ 本学のホームページの「入試案内」に当該学部の合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による可否の問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

### (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書及び入学手続関係書類等を送付します。また、出身学校長には選抜結果通知書を送付します。

## 6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

令和3年2月18日(木)から2月22日(月)まで(必着) (土・日曜日を除きます。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

### (2) 入学金

入学手続の際に、入学金を納付していただきます。

学部	入学金
人文社会科学部, 医学部看護学科	282,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### (3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

学部	授業料	納付方法
人文社会科学部, 医学部看護学科	年額 535,800円(予定額)	「年1回払い」,「年2回払い」,「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、未確定のため予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

# ★ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下表は、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定である、あるいは、受験したことを確認するための表です。

人文社会科学部志願者については36、37ページ、医学部看護学科志願者については39ページの「大学入学共通テストについて」を参照の上、必ず**志願者本人**が、下表の確認欄に○をつけて確認してください。

**受験する予定のない、あるいは、受験していない科目が1科目でもある場合は、出願することができません。**

## 学校推薦型選抜Ⅱ 人文社会科学部 人文社会科学科 人間文化コース

教科	国語	地理歴史				公民				数学①	数学②	理科①	理科②	外国語					
科目	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済						英語〔リディング〕	英語〔リスニング〕	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	2								0	0	0	0	1					
確認欄																			

## 学校推薦型選抜Ⅱ 人文社会科学部 人文社会科学科 グローバル・スタディーズコース

教科	国語	地理歴史				公民				数学①	数学②	理科①	理科②	外国語																	
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎							英語〔リディング〕	英語〔リスニング〕	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
指定数	1					1												0	0	1											
確認欄																															

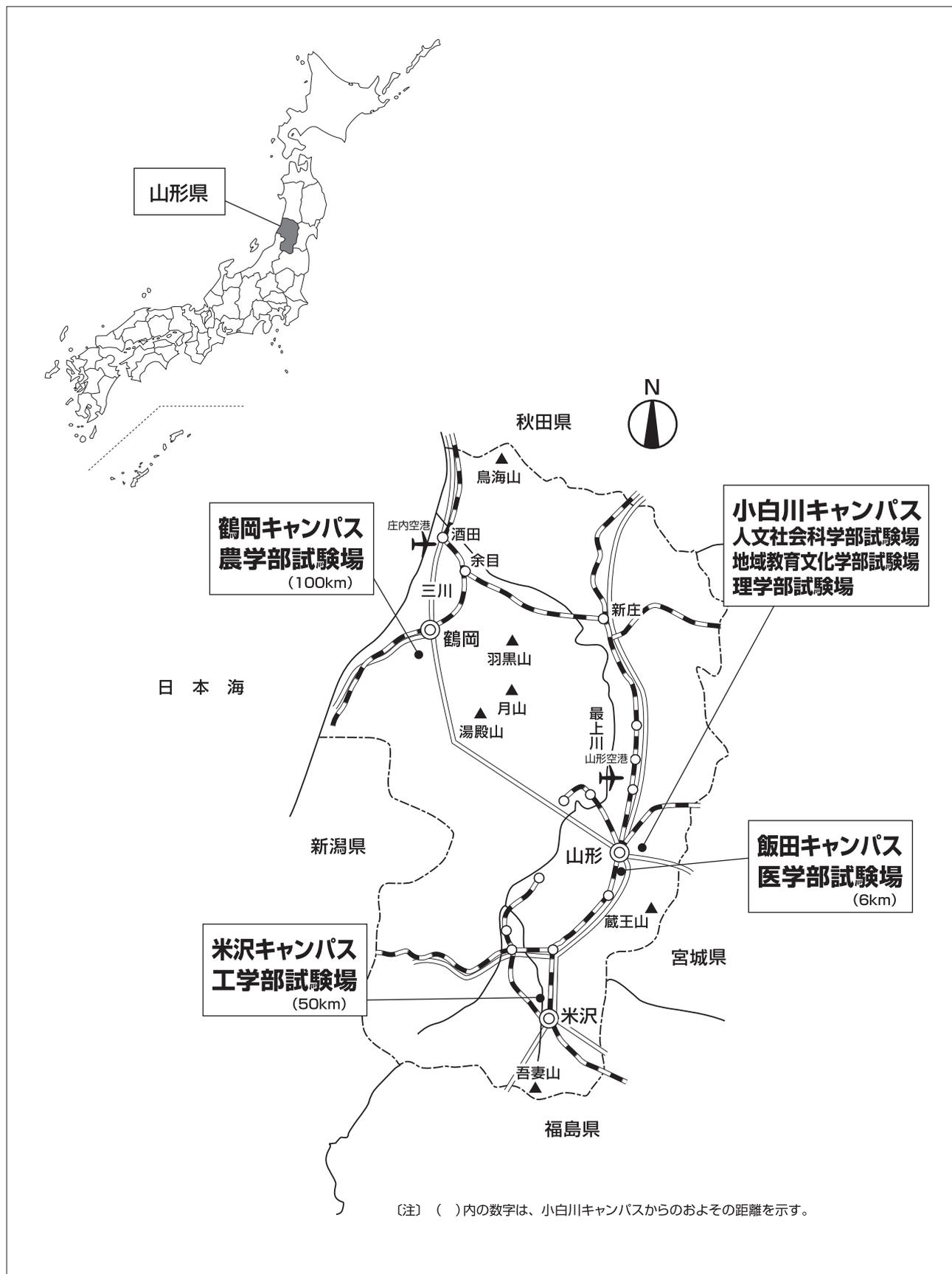
## 学校推薦型選抜Ⅱ 人文社会科学部 人文社会科学科 総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコース

教科	国語	地理歴史				公民				数学①	数学②	理科①	理科②	外国語																	
科目	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎											英語〔リディング〕	英語〔リスニング〕	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
指定数	1					1												0	0	1											
確認欄																															

## 学校推薦型選抜Ⅱ 医学部 看護学科

教科	国語	地理歴史				公民				数学①	数学②	理科①	理科②	外国語																	
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B			物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語〔リディング〕	英語〔リスニング〕	ドイツ語	フランス語		
指定数	1	1								1	1	「理科①から2」又は「理科②から1」				1															
確認欄																															

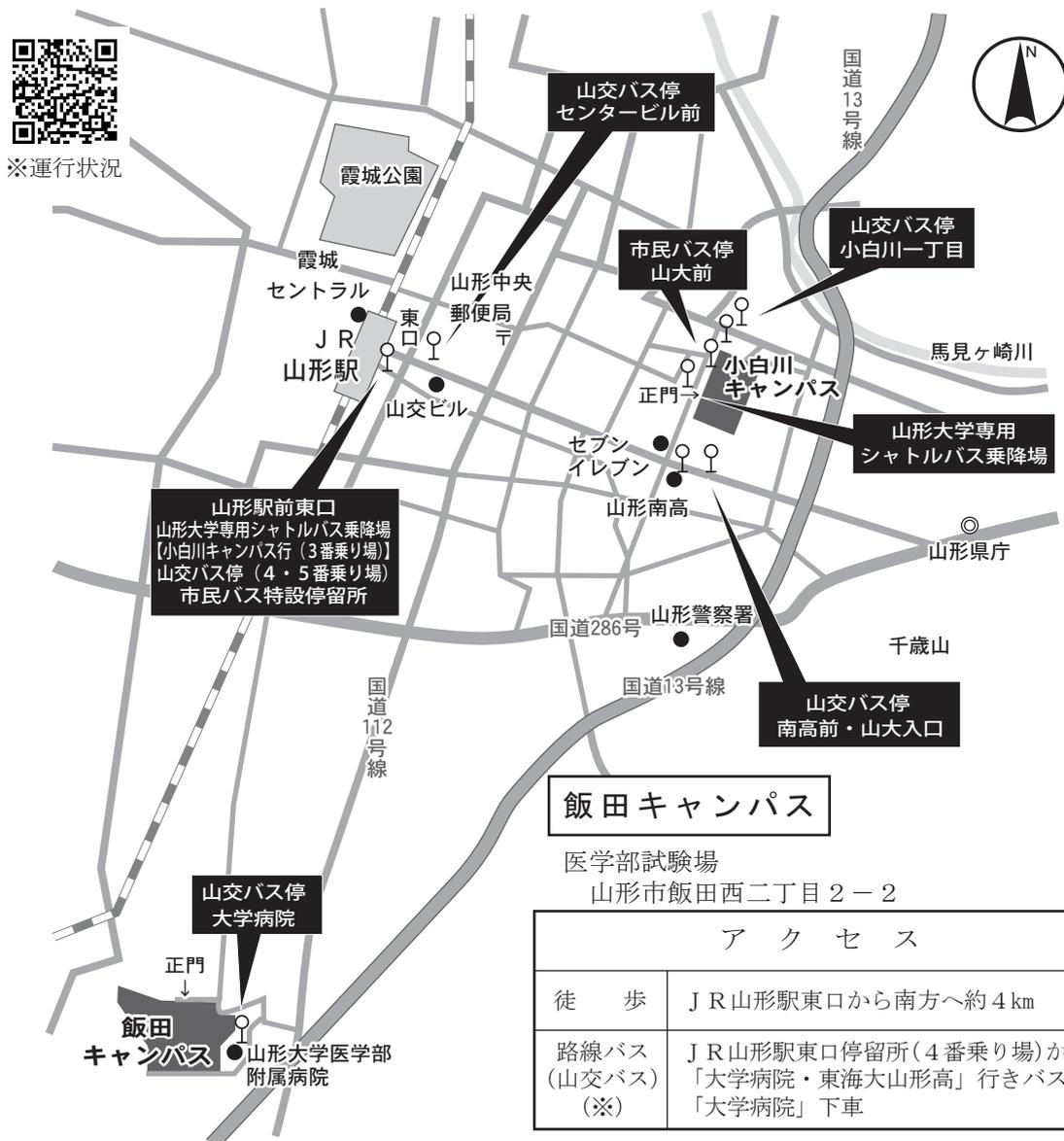
## Ⅵ 山形大学試験場案内図



## 小白川キャンパス

人文社会科学部試験場，地域教育文化学部試験場，理学部試験場  
山形市小白川町一丁目4-12

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R山形駅東口から，東方へ約2.3km	約35分
山形大学 専用シャトルバス	入学試験時には，J R山形駅東口停留所と小白川キャンパスを結ぶシャトルバスを無料でご利用いただけます。ただし，令和2年11月14日(土)に実施される学校推薦型選抜Ⅰ(理学部)においては，運行されませんのでご注意ください。 ・入試当日はキャンパス付近の混雑が予想されますので，時間に余裕を持ってお越しください。 ・時刻表の詳細については，本学ホームページでご確認ください。	約10分
市民バス (※)	・J R山形駅東口特設停留所から「東部エリア・東原町先回りコース」バス(ベニちゃんバス東くるりん)で「山大前」下車(約9分)，徒歩1分 ・J R山形駅東口特設停留所から「東部エリア・小荷駄町先回りコース」バス(ベニちゃんバス東くるりん)で「山大前」下車(約19分)，徒歩1分 ・時刻表等の詳細については，山形市公式ホームページでご確認ください。 ( <a href="https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp">https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp</a> )	東原町 先回りコース 約10分 ----- 小荷駄町 先回りコース 約20分
路線バス (山交バス) (※)	J R山形駅東口停留所(5番乗り場)から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車(約11分)，徒歩3分	約14分
	J R山形駅東口停留所(4番乗り場)から「山形県庁」行きバスで「南高前・山大入口」下車(約7分)，徒歩7分	約14分
	J R仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前・山大入口」下車(約60分)，徒歩7分	約67分



ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R山形駅東口から南方へ約4 km	約65分
路線バス (山交バス) (※)	J R山形駅東口停留所(4番乗り場)から「大学病院・東海大山形高」行きバスで「大学病院」下車	約15分

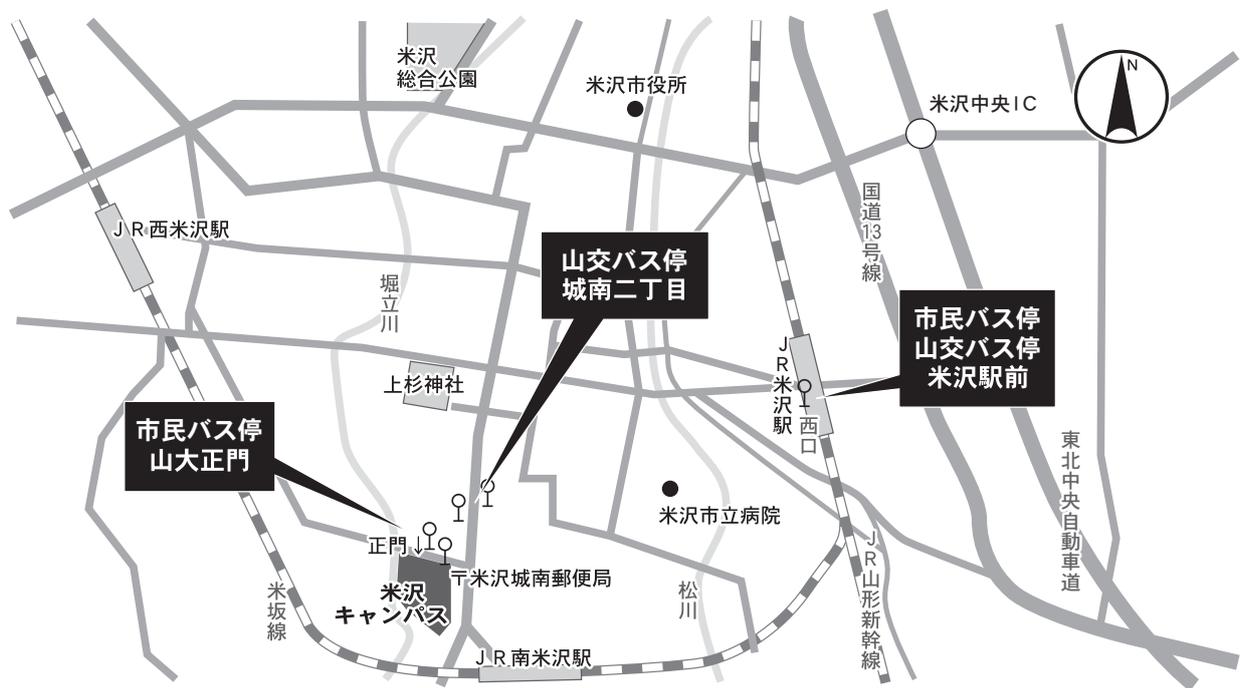
# 米沢キャンパス

工学部試験場

米沢市城南四丁目 3-16

※ J R 山形駅から J R 米沢駅までの所要時間は約45分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 米沢駅から南西へ約3.4km	約55分
	J R 南米沢駅出口から北西へ約1 km	約15分
市民バス	J R 米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス））」で「山大正門」下車 ※運行状況： <a href="https://www1.busnav.net/yonezawa/">https://www1.busnav.net/yonezawa/</a>	約15分
路線バス (山交バス)	J R 米沢駅前停留所から「白布温泉」行きバスで「城南二丁目」下車(約10分)、徒歩3分	約13分

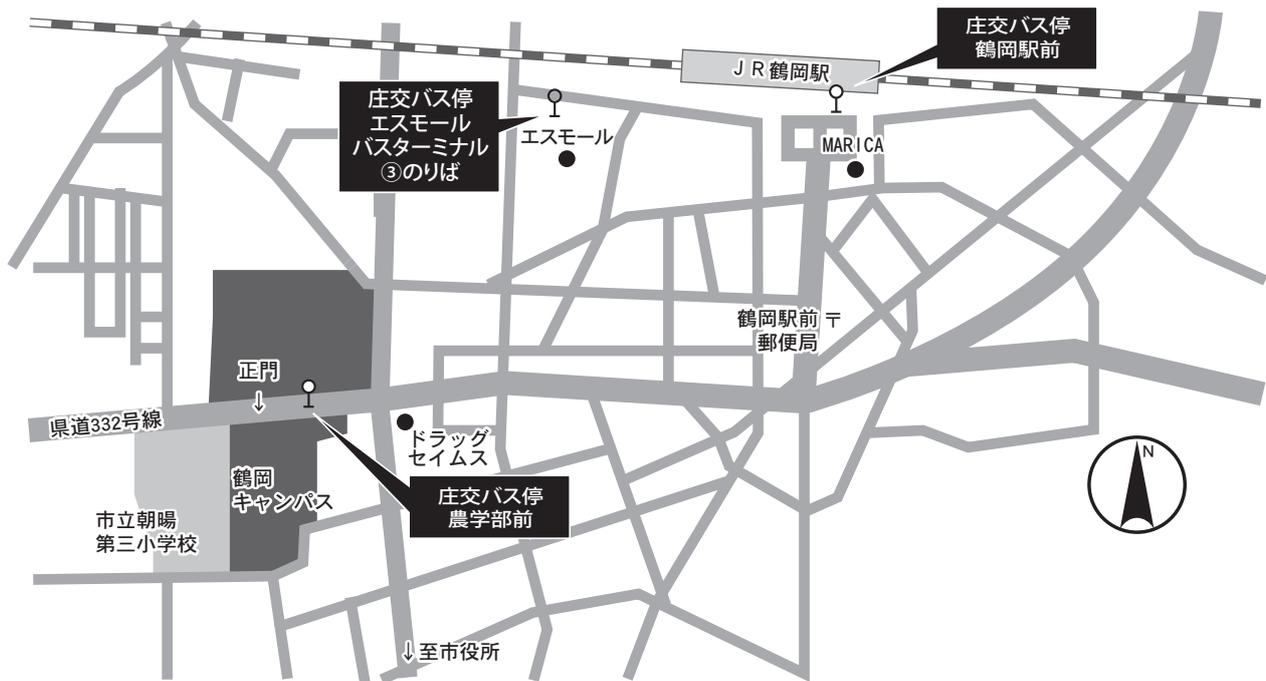


## 鶴岡キャンパス

農学部試験場  
鶴岡市若葉町1-23

※JR山形駅から鶴岡エスマールまでの所要時間は、高速バス約120分

アクセス		所要時間
徒歩	JR鶴岡駅から南西へ約1.4km	約20分
路線バス (庄内交通)	JR鶴岡駅前から「鶴岡市内廻り3コース」で「農学部前」下車 ※便数が少ないため、ご利用の際は運行状況をご確認ください。 運行状況： <a href="https://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html#turuoka">https://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html#turuoka</a>	約7分



## 大学案内及び各学部のパンフレット請求方法

◎ 大学案内及び各学部のパンフレットをご希望の方は以下により請求してください。

なお、請求される際は、テレメールが定める個人情報の取扱いについてご確認くださいませようお願いいたします。

### 1 山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ(<https://www.yamagata-u.ac.jp>)「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメールによる請求ができます。

### 2 テレメールによる請求方法

インターネット又は自動音声応答電話で請求できます。



インターネット	自動音声応答電話
<a href="https://telemail.jp">https://telemail.jp</a> 資料請求用QRコード▶	I P 電話※ 050-8601-0101 (24時間受付)

※ I P 電話：一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。

※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・氏名の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声不鮮明な場合は、電話で住所・氏名を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含む)
入学者選抜要項（入試概要）	581022	料金（送料含）は資料等の重量により異なりますので、請求画面上で各々ご確認願います。
入学者選抜要項（入試概要）+大学案内	561002	
総合型選抜学生募集要項（願書含む）	623032	
学校推薦型選抜学生募集要項（願書含む）	581012	
学校推薦型選抜学生募集要項(願書含む)+大学案内	541012	
大学案内	561022	
人文社会科学部案内	561032	
地域教育文化学部案内	561042	
理学部案内	581032	
医学部医学科案内	581042	
医学部看護学科案内	541042	
工学部案内	561092	
農学部案内	581092	

### 【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料として、コンビニ支払いとLINE Pay請求書支払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます。

また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問合せは

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30~18:00) まで

# 〔 入 試 情 報 〕

■山形大学ホームページ 「入試案内」又は「受験生の方」

<https://www.yamagata-u.ac.jp>



## ◎お問合せ先

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	教 育 部 入 試 課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 人 文 社 会 科 学 部 担 当		(023)628-4207
地域教育文化学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 地 域 教 育 文 化 学 部 担 当		(023)628-4310
理学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 理 学 部 担 当		(023)628-4710
医学部に関すること	医 学 部 入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023)628-5049
工学部に関すること	工 学 部 入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農 学 部 入 試 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは、8:30~17:00(土・日曜日、祝日、10月15日及び12月28日~1月3日を除く。)の時間帯でお願いします。

発行年月：令和2年9月

作 成：山形大学教育部入試課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL (023)628-4141



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。